



くすりと健康

一般社団法人
神戸市薬剤師会

水虫

水虫は、白癬菌によっておきる病気です。皮膚の構造は、「表皮」真皮「皮下組織」の3つの部分から成っており、白癬菌は、皮膚の一番外側の「表皮」にあるケラチンというタンパク質を栄養源としています。また、白癬菌はカビ（真菌）の一種なので高温多湿が繁殖に適しており、足の裏や足指の間が恰好の住処となります。

水虫には、ジクジクと湿ったタipesや逆にカサカサで皮がむけるタイプまでさまざまな症状があり、多くの場合は痒みを伴いますが、まったく痒みのないこともあります。

水虫の治療は、塗り薬などの外用剤による薬物療法が基本となります。「表皮」は、一番下の部分で細胞が作られ、その後で新しく作られる細胞に押し出されるようにして外側に移動してゆき、最後は垢

となって皮膚から剥がれ落ちます。これを皮膚の新陳代謝といい、約1カ月で新しく生まれ変わります。白癬菌がじっとしていれば、新陳代謝によって移動し垢と一緒に剥がれ落ちますが、実際は白癬菌も増殖を繰り返しているのです。皮膚の中にどまり続けています。したがって、薬で白癬菌の増殖を抑えれば、1カ月で白癬菌はいなくなるようになります。

しかし、薬を塗り続けてもよくならなかつたり、薬をやめると再発したりすることもよくあり、その原因として薬の塗り方が適切でないケースなどが考えられます。白癬菌は症状の出ているところ以外にも潜んでおり、広範囲に塗ることが必要です。たとえば、足指の間に水虫がある場合は、症状のない足指とその周りや足裏にも塗ると効果的に退治できます。また、最近の薬は皮膚への浸透力が高いので薄く塗っても効果を発揮します。特に、お風

呂上りに塗ると角質が柔らかくなつておりよく浸透します。薬を使用する期間も長期間（3カ月以上）使用したほうが治りやすくなります。それでもよくなる場合は、白癬菌が原因（水虫）でないケースや爪水虫のように内服薬での治療が必要な場合もあるので、専門の皮膚科を受診されることをお勧めします。

日常生活での注意点は、足を清潔な状態に保ち、蒸らさないことが重要です。白癬菌自体の感染力はあまり強くありませんが、足拭きマットやスリッパなどから感染することが多いので、保菌者との共用は避けてください。もし足に白癬菌が付着しても、洗い流して湿度を低く保てば感染することは少ないでしょう。また、靴を通気性のよいものにしたリ、靴下をこまめに換えたりすることも効果があります。

（北区 薬局エヒラファーマシー

松本博志